

# きずな便り

～きずな活動報告～



NO. 4 R4.8.8発行

私たちの有償ボランティア活動に、ご理解・ご支援頂きまして、誠にありがとうございます。  
多くの皆さまの善意の後押しにより、活動が広まってきております。ここに感謝の意を込めて活動報告をさせていただきます。

## 利用・登録状況

きずな利用者 (利用会員)		きずなサポーター (支援ボランティア)	きずな応援団 (賛助会員)
【在宅高齢者等】	登録 18 名	83 名登録中	R4 度会員 【団体】 なし 【個人】 3 名 総額 27,000 円
【地域・サロン活動】	土肥小土肥地域づくり協議会 □コトレOB会 さくら会 □コトレOB会 コスモス会 □コトレOB会 菜の花会 土肥地区サロンボランティア連絡会 栄源寺護持会ボランティアクラブ		
【老人施設】	土肥ホーム		

\*令和4年7月31日現在

## 主な活動の経過

感染拡大状況を警戒しながら、今年度の活動計画に基づいて、下記の活動をしてきました。

### ○ NPO 全国移動支援ネットとの連携

- 1月26日 【Zoom 意見交換会①】 移送支援サービスの実現にむけて
- 3月23日 【研修会】 住民による移送サービス創出の勉強会
- 4月27日 【Zoom 意見交換会②】 移送支援サービスの実現にむけて

### ○ 理事会・定例会等

- 5月9日 理事会
- 5月18日 総会 (R3 事業計画及び活動収支報告、R4 事業計画及び活動収支計画等)
- 6月20日 サポーター定例会 (ボランティア活動状況の共有と地区懇談会)

## 令和4年度の主な活動計画 (予定)

- 住民による移送サービス創出にむけた研究と実証実験の実施
- 次世代交流を目的としたイベント開催 (スマホ勉強会や高齢者との交流会等)
- 暮らし支援や地域における支え合い活動 (居場所やサロン、地域づくり等) の推進を図るために、更なるPR活動と連携を展開していく

## ひと昔前のように皆隣近所が力を合わせて生活できるように・・・

いつも「きすな」の活動を応援して下さる皆様に感謝致します。本当にありがとうございます。私のひとり暮らしの生活は十数年になります。それまでは、大勢の人々に囲まれて毎日楽しく充実した生活をしていました。十年ひと昔といいますが、ひとりで暮らすうちにいつしか家に閉じこもることがおおくなりました。そんな時に「はまぼうクラブ」の皆さんからお誘いを受けて仲間に入れていただき活動を始めました。みんなの中に入ると会話や動きも多くなり始めました。現役とまではいきませんが活動的な日々が戻ってきました。



そうしたときに「きすな」の活動からもお誘いがあり、活動に参加させていただいて現在に至っています。ひと昔前のように皆隣近所が力を合わせて生活できるようにしていきたいものです。特に、高齢化のすすんでいる土肥地区ですから近所の皆さんの応援が必要になってきます。皆さんが気軽に声をかけあえる地域にしていきたいとおもいます。きすなを支えてくださる、多くの方の応援を受けて順調に利用が進んでいきますように頑張ります。今後とも皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

NPO法人「土肥の暮らしを支え合う会 きすな」 副理事長 黒田健祐

## 住民による移送サービス創出にむけて！！

「近くに商店がなく買い物に行くのが大変だ」「ひとり暮らしの高齢者にとって通院が大変」等の困りごとに対し、マイカーなどを活用したボランティア活動ができないものか？との声があります。

そこで、NPO 全国移動支援ネットの事務局長 伊藤みどりさんとの意見交換や研修会開催を繰り返し、住民がボランティア活動でできる移送サービス創出に向けて、ボランティアの育成や実証実験をしてみようと取り組んでいます。様々な課題を乗り越えながら何とか活動の創出を目指します。



研修会の様子

## さまざまな活動を通し、土肥の暮らしを支えています♪ (活動フォト)

